

## 第4回学校運営協議会報告（広尾中学校）

令和2年度第4回運営協議会が令和3年3月9日（火）19：00から広尾町コミュニティセンター大ホールで開催されました。

### 1. 学校関係者評価報告書

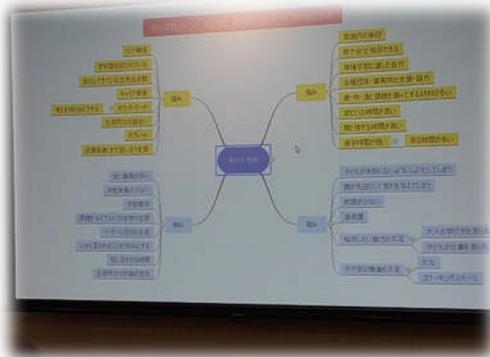
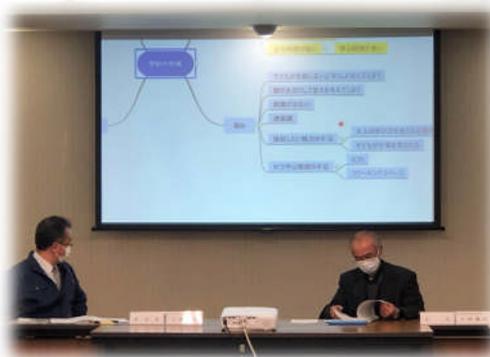
各委員から提出された学校関係者評価票を総括し、全体として「概ね妥当」な評価とする学校関係者評価報告書（次頁以降に掲載）を決定しました。

### 2. 学校運営の基本方針の承認

学校から示された、「自ら課題を見つけ自ら考え最後まであきらめずに取り組む生徒」を重点教育目標とする令和3年度の教育課程と学校経営計画（次頁以降に掲載）を承認しました。

### 3. 熟議「教育環境分析」

「重点教育目標」と「育成を目指す資質・能力」を観点にして、「教育環境の強み・弱み」について意見交換を行いました。（次頁以降に掲載）



# 学校関係者評価報告書

本協議会において承認した教育課程、学校経営計画の自己評価について、学校関係者評価を実施しました。その結果、各項目で「妥当とは思わない」「わからない」という意見があるものの、全体としては「概ね妥当」な評価であると考えます。

次年度の学校評価の実施に向けては、学校マネジメントにおける自己評価の重要性を踏まえ、各委員の意見等を参考に改善を図っていただきますようお願いいたします。

令和3年3月9日（火）

広尾町立広尾中学校長 松橋 達美 様

広尾中学校学校運営協議会長 大林 勝則

## 教育活動の実施状況

### 【次の知識及び技能を身に付ける。】

観点	評価の妥当性（人）
人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。（社会・公民）	概ね妥当 7 妥当とは思わない 1 よくわからない 無回答 2
身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。（理科第2分野）	概ね妥当 7 妥当とは思わない よくわからない 1 無回答 2
創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能。（音楽）	概ね妥当 8 妥当とは思わない よくわからない 無回答 2
生活や社会、環境とのかかわりを踏まえて、技術の概念を理解すること。（技術）	概ね妥当 7 妥当とは思わない よくわからない 1 無回答 2
家庭生活は地域との相互のかかわりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解すること。（家庭）	概ね妥当 7 妥当とは思わない よくわからない 1 無回答 2

【次の思考力、判断力、表現力等を身に付ける。】

観点	評価の妥当性(人)
互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。(国語)	概ね妥当 5 妥当と思わない 1 よくわからない 1 無回答 3
攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。(保健体育)	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 2
日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。(英語)	概ね妥当 8 妥当と思わない よくわからない 無回答 2

【次のような意欲や態度、人間性等を醸成する。】

観点	評価の妥当性(人)
数学を生活に生かそうとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。(数学)	概ね妥当 7 妥当と思わない 1 よくわからない 無回答 2
教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってより良い校風をつくとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実につとめること。(道徳)	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 2
様々な地域学習を通して、地域の活性化に参画する意欲を育む活動から互助の精神を育成すること。(総合的な学習の時間)	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 2
男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。(特別活動)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 6

### 学校経営の実施状況

視点	観点	評価の妥当性（人）
全体	重点教育目標の具体化に向けて、各教科の取組の観点を明確にする。	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 無回答 3
	CS担当者を1名配置し、年間の取組の柱となる各教科の「重点単元」の取りまとめを行う。	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 無回答 3
	重点単元の授業が確実に実施されているか、進行管理を行う。	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 無回答 3
	互助の精神に関わって実施された授業や行事を、地域・保護者に積極的に発信する。	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 無回答 3
教務部	重点単元の授業時数を、確実に確保する。	概ね妥当 7 妥当と思わない よくわからない 無回答 3
	道徳の重点目標である「よりよい学校生活、集団生活の充実」の授業を、確実に計画、実施する。	概ね妥当 6 妥当と思わない よくわからない 2 無回答 2
	文化祭の活動の目標の中に「互助の精神」を位置づけ、各活動で取組を進める。	概ね妥当 8 妥当と思わない よくわからない 無回答 2
指導部	学級活動、生徒会活動の目標の中に「互助の精神」を入れる。	概ね妥当 6 妥当と思わない 1 よくわからない 1 無回答 2

	生徒会活動として、「互助の精神」を育むことを目的とした行事を実施する。	概ね妥当 4 妥当と思わない 1 よくわからない 2 無回答 3
	環境整備作業の意義の1つとして、「互助の精神」を明確に打ち出す。	概ね妥当 4 妥当と思わない 1 よくわからない 2 無回答 3
	体育祭の活動の目標の中に「互助の精神」を位置づけ、各活動で取組を進める。	概ね妥当 6 妥当と思わない 1 よくわからない 無回答 3
研修部	重点単元を中心にして研究授業を行い、加えて指導主事を招聘した研修を計画・実施する。	概ね妥当 6 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 3
	研究授業で生徒の自己評価を実施し、互助の精神に関してどのような成長がみられるかを検証する。	概ね妥当 6 妥当と思わない よくわからない 無回答 4

# 重点教育目標と育成を目指す資質・能力等

広尾町立広尾中学校

校長 松橋 達美

## ◎ 重点教育目標

○ 自ら学ぶ生徒～「自ら課題を見つけ 自ら考え 最後まであきらめずに取り組む生徒」

### 【探求心】

- 1 自ら積極的に物事に取り組める。
- 2 自ら考え、自ら判断し行動できる。
- 3 身の回りの出来事に好奇心をもって接し、その中に課題を発見することができる。
- 4 困難に出会っても屈することなく、課題解決に取り組める。
- 5 課題解決に向けて仲間と協力や切磋琢磨し、より高い次元での解決に向け努力できる。

### 【育成を目指す資質・能力】

- ◇知識・技能 ～ 芸術教科の持つ豊かな感性を育む教育の中で、授業での活動の楽しさを味わいながら基礎・基本となる知識を深め、技能を習得する。
- ◇思考力・判断力・表現力 ～ 身に付けた知識・技能を活用し、各教科で課題解決に向けて話し合い活動を通して思考し、その取組を通して判断し、学びの成果を分かりやすく表やグラフ、ポスター、パワーポイントにまとめるなど工夫して表現する力を育む。
- ◇学びに向かう力・人間性 ～ 情報を精査し、自ら問題を見いだす活動を積み重ねながら、自宅学習につなげたり、将来への夢を持ちながら自己実現や自己の成長に向けて真摯に学習活動を進めていく力。

### 【各教科等における指導の重点】

#### 1 知識・技能を身に付ける

教科	内容
音楽	・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能。
美術	・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。

## 2 思考力、判断力、表現力等を身に付ける

教科	内 容
国語	・B 書くこと「根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。
社会	・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめになるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること。
数学	・一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。 ・基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。
理科	・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。
保健体育	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。
技術	・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。
家庭	・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。
外国語	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。
総合的な学習の時間	・未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。

## 3 学びに向かう力、人間性を醸成する。

教科	内 容
道徳	・A-4〔希望と勇気、克己と強い意志〕より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
特別活動	・一人一人のキャリア形成と自己実現 ・目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。

# 令和3年度 広尾町立広尾中学校 学校経営計画

## 令和3年度重点教育目標

自ら学ぶ生徒～「自ら課題を見つけ 自ら考え

最後まであきらめずに取り組む生徒」【探求心】

項目	取組	備考
全体	重点教育目標の具体化に向けて、各教科の取組の観点を明確にする。	
	C S 担当者を1名配置し、年間の取組の柱となる各教科の「重点単元」の取りまとめを行う。	
	重点単元の授業が確実に実施されているか、進行管理を行う。	
	重点単元に関わって実施された授業や行事を、地域・保護者に積極的に発信する。	
教務部	重点単元の授業時数を、確実に確保する。年度の初めに全教科の授業を明確にする	
	道徳の重点目標である「真理の探究、創造」の授業を、確実に計画、実施する。	
	文化祭の活動の目標の中に「探究心」を位置づけ、各活動で取組を進める。	
指導部	学級活動、生徒会活動の目標の中に「探究心」を入れる。	
	生徒会活動として、「探究心」を育むことを目的とした行事を実施する。	
	生徒会行事の意義の1つとして、「探究心」を明確に打ち出す。	
	体育祭の活動の目標の中に「探究心」を位置づけ、各活動で取組を進める。	
研修部	重点単元を中心にして研究授業を行い、加えて指導主事を招聘した研修を計画・実施する。	
	研究授業で生徒の自己評価を実施し、探求心に関わってどのような成長がみられるかを検証する。	

# 教育環境分析

自ら課題を見つけ、自ら考え、最後まであきらめずに取り組む生徒

## 学校⇄地域

### 強み

- ICT環境
- タブレット
- 学校数が絞られている
- 変化してきている生徒会活動
- キャリア教育
- 考えを明らかにできる
- ホワイトボード
- 生徒同士の話し合い
- 放課後遅くまで話し合う生徒

### 弱み

- 若い職員が多い
- 中堅教員が少ない
- 学習の必要性を感じる機会
- 学習意欲
- 課題を与えてもらうのを待つ生徒
- リーダーに任せる生徒
- 人から言われたことをうのみにする
- 話し合わせる時間
- 生徒同士の討論が苦手

### 強み

- 家庭内の挨拶
- 町で会うと挨拶できる
- 環境学習に適した自然
- 海・山・川
- 各種団体・事業所の支援・協力
- 農・林・漁と課題を設定する材料が多い
- 家にいる時間が長い
- 親と接する時間が長い
- 通学時間が短い
- 学ぶ時間が多い

### 弱み

- 子どもが失敗しないようにしようとしてしまう
- 親が先回りして答えを与えてしまう
- 刺激が少ない
- 過保護
- 吸収したい魅力の不足
  - 大人の学び方を見られる環境
  - 子どもが仕事を見られる
- 外で学ぶ環境の不足
  - カフェ
  - コワーキングスペース